

ごみ・リサイクルに関するトピックス

制度
初認定

株式会社ダイエーが優秀エコショップに認定

(株)ダイエーは、「ごはんがおいしくなるスーパー」というスローガンを掲げて、様々な取り組みを行っており、令和3年度（2021年度）に市内3店舗（グルメシティ庄内店・曾根店・豊中駅前店）が優秀エコショップに認定されました。



グルメシティ庄内店

曾根店

豊中駅前店

特殊な樹脂を用いた真空スキンパック包装により、消費期限が大幅に延びることで、食品廃棄率削減につなげる取り組みや、豊中市・豊中市社会福祉協議会と連携したフードドライブ活動などが高く評価されました。



●豊中エコショップ制度●

環境のことを考え、ごみの減量につながる3R（リデュース・リユース・リサイクル）行動や省エネなどに積極的に取り組むお店や、環境に配慮した販売方法・サービスの提供を行っている市内のお店を『豊中エコショップ』として認定しています。

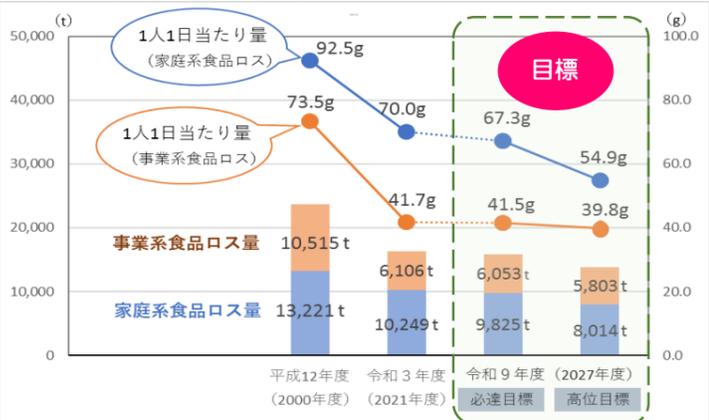
また、豊中エコショップとして認定を受けたお店のうち、環境に優しい取り組みを計画的に、さらに進化させて取り組んでいるお店を応援する『ステップアップ認定制度』を設けています。



令和3年度（2021年度）の豊中市内食品ロス発生量

豊中市では、令和4年（2022年）3月に「豊中市食品ロス削減推進計画」を策定しました。この計画では、平成12年度（2000年度）に比べて、高位目標として令和9年度（2027年度）までに約10,000トンの削減をめざしています。

令和3年度（2021年度）の豊中市内の食品ロス発生量を推計したところ、家庭系と事業系をあわせ16,355トンでした。



とよなかエコショップガイドブックvol.2を発行

豊中エコショップ認定店（170店舗 ※令和4年（2022年）1月末現在）を市民の方などに積極的に利用していただくことで、環境保全につなげることを目的に制作しました。エリア別マップ付きで、量販店・飲食店・小売店3つの業種に分けて、各店舗情報や取り組みを紹介しています。エコショップ各店舗や一部の公共施設でお配りしているほか、市ホームページにも掲載しています。



「とよなかエコショップガイドブックvol.2」



犬ふん放置禁止！

公共の場所での犬ふん放置は、「豊中市美しいまちづくりの推進に関する条例第8条」「大阪府動物の愛護及び管理に関する条例第3条」「軽犯罪法第1条第27号」で禁止されています。

豊中市では、犬ふん放置を防止するため、啓発用看板の無料貸出を行っています。

犬のふんは、飼い主の責任において必ず持ち帰りましょう。



令和4年（2022年）9月

40万人の
とよなか
未来バトン
SDGs to 2030

げん ハッピー(8%)ごみ減量プラン (第4次豊中市ごみ減量計画)



令和3年度 (2021年度) 事業等報告書 速報版

ハッピー(8%)ごみ減量プラン事業等報告書速報版は、当プランの年度ごとの進捗状況を速報版としてまとめたもので、ごみの状況をみなさまにわかりやすく紹介するとともに、ごみ減量施策の進捗状況に対し、みなさまからご意見をいただき、今後の事業展開に活かすことを目的としています。

【ハッピー(8%)ごみ減量プラン(第4次豊中市ごみ減量計画)の概要】

○計画期間
平成30年度(2018年)から令和9年度(2027年)

基本理念は	▶▶▶▶	○協働で取り組む循環型社会の構築
基本施策は	▶▶▶▶	○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進 ○廃棄物の適正処理の推進
優先的な取り組み内容は	▶▶▶▶	○食品ロス削減に向けた取り組み ○発生抑制・再使用の推進 ○再生資源集団回収の推進 ○ごみ減量に向けた情報提供 ○多量排出事業者におけるごみ減量の促進 ○搬入物調査の活用

【ハッピー(8%)ごみ減量プラン(第4次豊中市ごみ減量計画)の減量目標】

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)には平成28年度(2016年度)実績より **8% 削減**

平成28年度(2016年度)
約104千t / 年

令和9年度(2027年度)
約95千t / 年

個別目標

家庭系ごみ1人1日当たり量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
約414g / 人 / 日

約28g 削減

令和9年度(2027年度)
約386g / 人 / 日

事業系ごみ量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
約43千t / 年

約5千t 削減

令和9年度(2027年度)
約38千t / 年

リサイクル率

平成28年度(2016年度)
約15.7%

約3.6% 増加

令和9年度(2027年度)
約19.3%



「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」および「第4次豊中市ごみ減量計画」の中間見直しを実施します

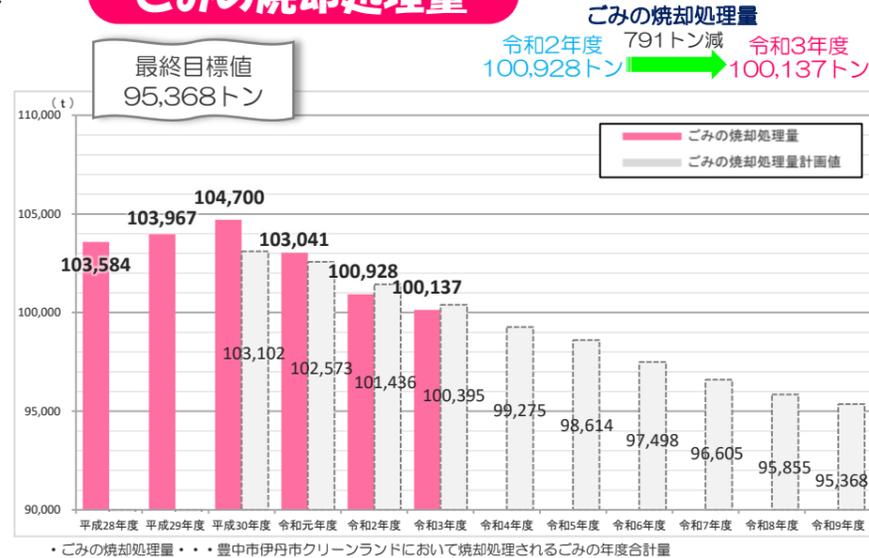
市では今年度、平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）までを計画期間とする「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」および、アクションプランの「第4次豊中市ごみ減量計画」（ともに平成30年（2018年）3月策定）の中間見直しを実施します。

この間、災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、社会を取り巻く環境が一変する中、家庭系ごみ、事業系ごみの排出量も当初の予想から大きく変化しています。

平成30年度（2018年度）からの4年間における排出量等の要因を分析し、今後のごみ減量に向けた具体的な施策について検討していきます。8月下旬には無作為に抽出した市民アンケート、また、令和5年（2023年）1月にはパブリックコメントを予定しています。

令和3年度(2021年度)のごみ減量の進捗状況

ごみの焼却処理量



要因分析

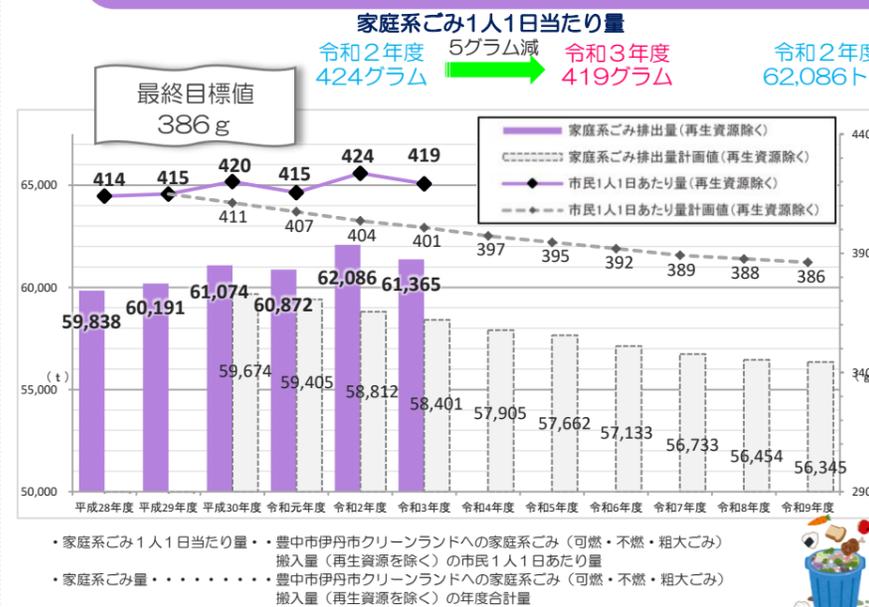
「ごみの焼却処理量」は、令和2年度(2020年度)と比較して約791トン減少しています。これは、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業系ごみは引き続き減少し、家庭系ごみにおいても、新たな生活様式が徐々に定着しつつある中、発生抑制及びリサイクル率の向上等によりその排出量が減少したことが要因と推察されます。

審議会からの評価

当年度の目標値を達成していますが、新型コロナウイルス感染拡大による一時的な減少であることが想定されるため、今後の動向を注視しつつ、引き続きごみの削減に取り組む必要があります。



家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量(参考)



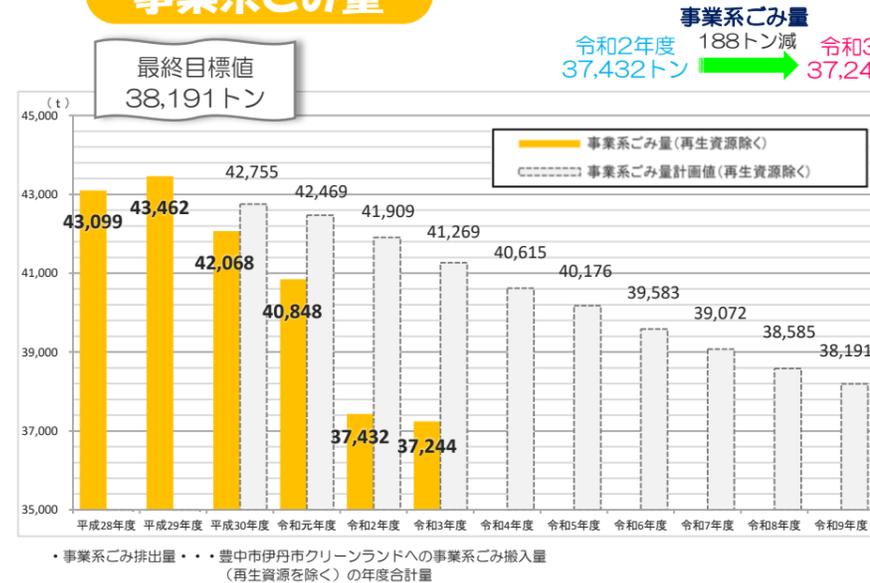
要因分析

「家庭系ごみ1人1日当たり量」及び「家庭系ごみ量」は、令和2年度(2020年度)と比較して減少しています。これは、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅機会は流行以前より増えている一方、外出自粛要請などは前年度から緩和され、また新たな生活様式も定着しつつある中、従来のごみ減量意識が働いたことなどが要因と推察されます。

審議会からの評価

コロナ禍が続き、生活様式の変化に伴う家庭系ごみの増加に対応するため、食品ロス削減推進計画に基づく施策の推進や、更なる発生抑制・再資源化につながる家庭での取り組み等についての継続した周知・啓発が必要です。

事業系ごみ量



要因分析

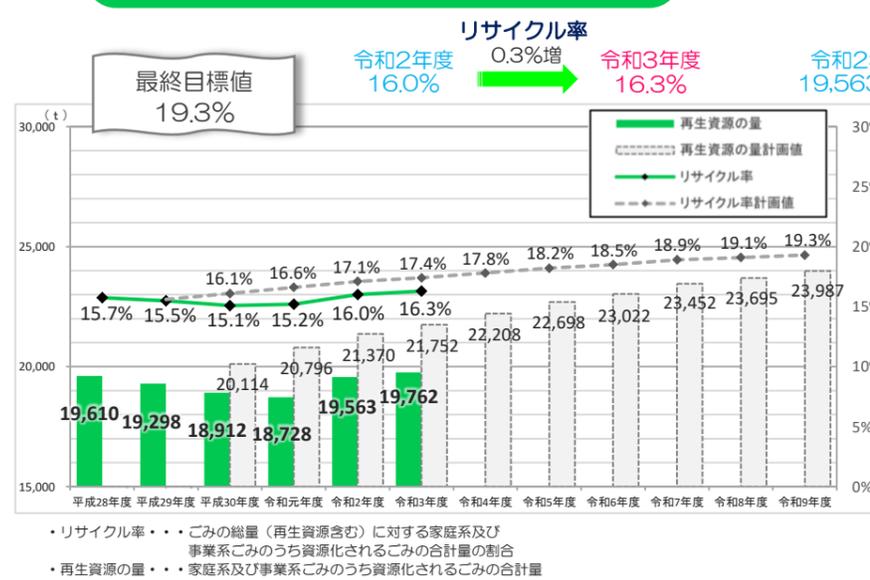
「事業系ごみ量」は、令和2年度(2020年度)と比較して約188トン減少しています。これは、処理施設における搬入物検査の実施等、取組みによる削減効果とあわせ、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業活動が低迷していることが要因と推察されます。

審議会からの評価

今後の事業活動の活発化により、事業系ごみ排出量の増加が予測されることから、引き続きごみの削減に取り組む必要があります。



リサイクル率・再生資源の量(参考)



要因分析

「リサイクル率」は、令和2年度(2020年度)と比較して約0.3%増加しています。これは、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、宅配・テイクアウトの利用機会が増加している中、容器包装類の排出量と協力が上昇したことが要因と推察されます。

審議会からの評価

発生抑制・再使用の考え方を優先しつつ、更なる適正分別・排出に向け、継続した周知・啓発が必要です。

令和3年度(2021年度)の取組み

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する協定を締結

令和4年(2022年)2月、住民サービスの向上と更なる使用済小型電子機器等の資源化を促進するため、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する協定」をリネットジャパンリサイクル株式会社と締結しました。

リネットジャパンリサイクル株式会社は、使用済小型家電の宅配便による回収を行っており、回収品目にパソコンが含まれる場合、1箱分の回収料金が無料となります。詳細は、同社ホームページをご覧ください。



令和3年度(2021年度)環境美化功労者に感謝状を贈呈

豊中市では、道路や公園などの身近な公共の場所をボランティアで清掃する活動が多く地域で行われており、こうした地域清掃活動に必要な用具の貸出し、ごみ袋の配布や清掃後のごみ収集などの支援を行っています。

このような地域清掃活動に登録後、3年以上の期間において清掃することで、まちの美化に貢献した個人や団体に感謝状を贈呈しています。

令和3年度(2021年度)環境美化功労者として石川康夫氏(個人)、大商学園高等学校(団体)に感謝状を贈呈しました。



石川 康夫氏(個人)



大商学園高等学校(団体)

事業系一般廃棄物管理責任者研修会を開催

事業所から排出されるごみの削減やリサイクルを推進するため、事業者を対象とした事業系一般廃棄物管理責任者研修会を、令和3年(2021年)9月15日～10月8日の期間YouTube配信により開催しました。

サステナ・ハース代表 立山裕二氏による講演「SDGsと循環型社会の基本(社会を変えるための初めの一步)」により、企業として環境問題に取り組むメリットやサステナブル経営、ごみ減量に関することなどについて学ぶことで、事業者の皆様がSDGsに取り組む意義や目的を確認していただく機会となりました。



サステナ・ハース代表 立山 裕二氏

豊中市LINE公式アカウントで ごみの分別方法を検索

チャットボット(自動応答)によるごみの分別案内サービスの運用を開始しました。ごみと再生資源の分別に関する質問に24時間365日AIが自動で応答します。

